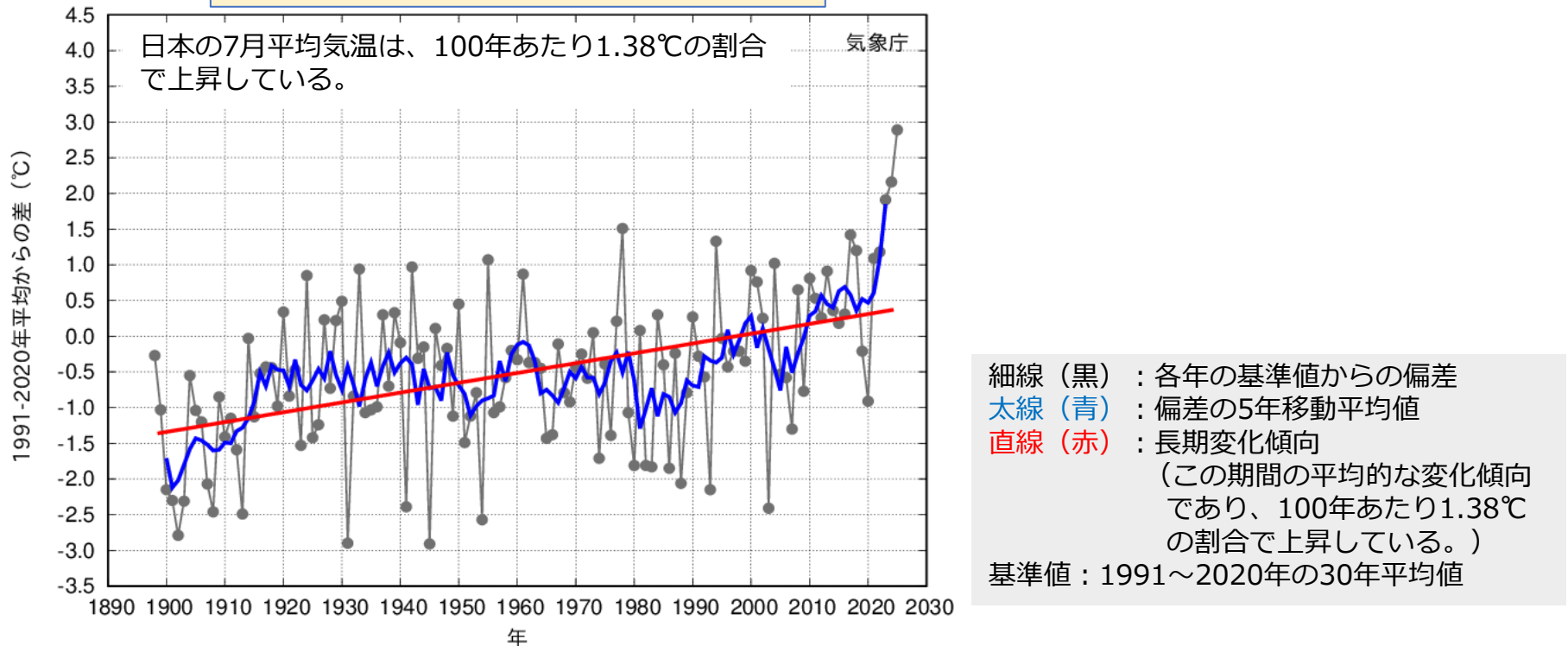


日本の7月の平均気温

- 2025年7月の日本の平均気温の基準値からの偏差（*1）は+2.89℃で、これまでの記録であった2024年7月の+2.16℃を上回り、統計を開始した1898年以降の7月として最も高くなった。

日本の7月平均気温偏差の長期変化



（*1） 1991～2020年の30年平均値との差。都市化による影響が比較的小さく、長期間の観測が行われている地点から、地域的に偏りなく分布するように選定した15地点（※）の気象台等の観測値を用いた統計。

※ 網走、根室、寿都、山形、石巻、伏木、飯田、銚子、境、浜田、彦根、宮崎、多度津、名瀬、石垣島

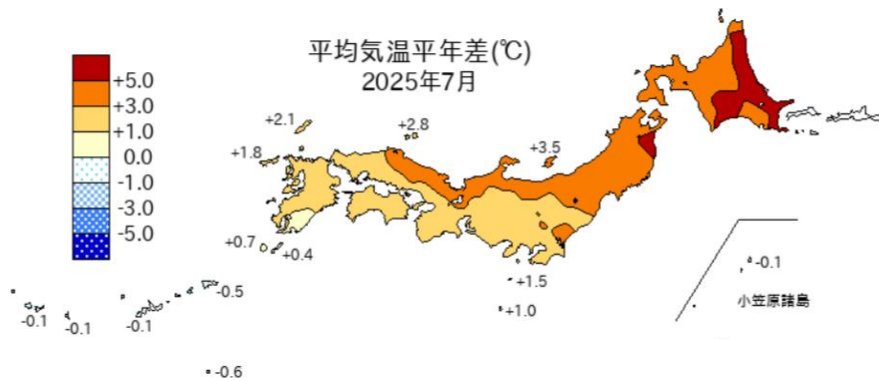
日本の月平均気温の長期変化の詳細は、「日本の月平均気温」をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/jul_jpn.html

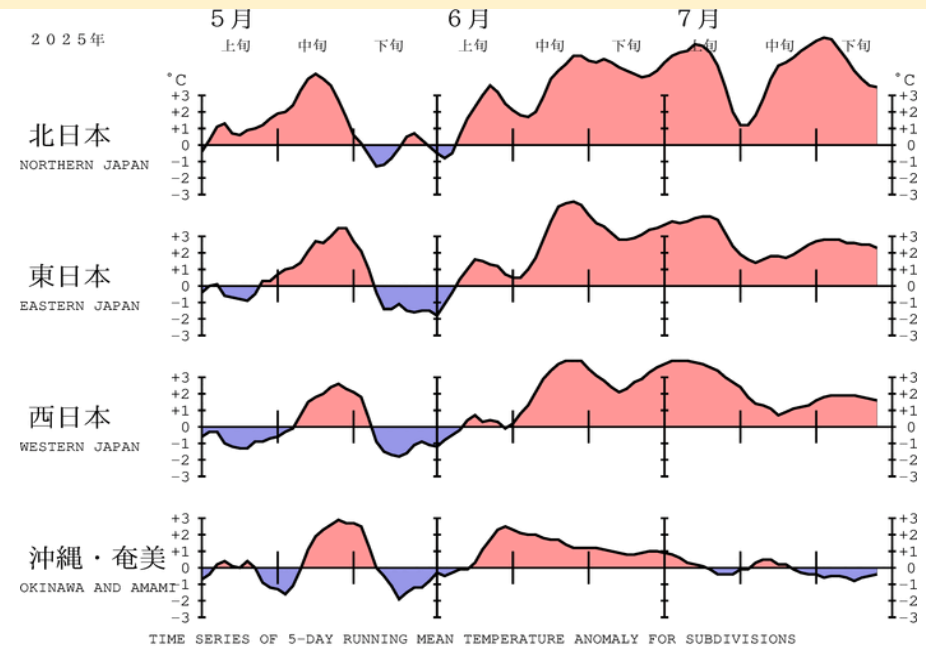
各地域の7月の平均気温

- 2025年7月の月平均気温の地域平均平年差（*2）は北日本で+4.5℃、東日本で+2.7℃、西日本で+2.2℃で、いずれも統計を開始した1946年以降の7月として最も高くなった。

2025年7月の平均気温平年差の分布



地域平均気温平年差の経過（5日移動平均）



地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

更新日：2025年8月1日

（*2） 1991～2020年の30年平均値との差。

地域平均については、全国153の気象台等による観測値のうち、三宅島、八丈島、父島および南大東島を除いた149地点の観測値を用いる。

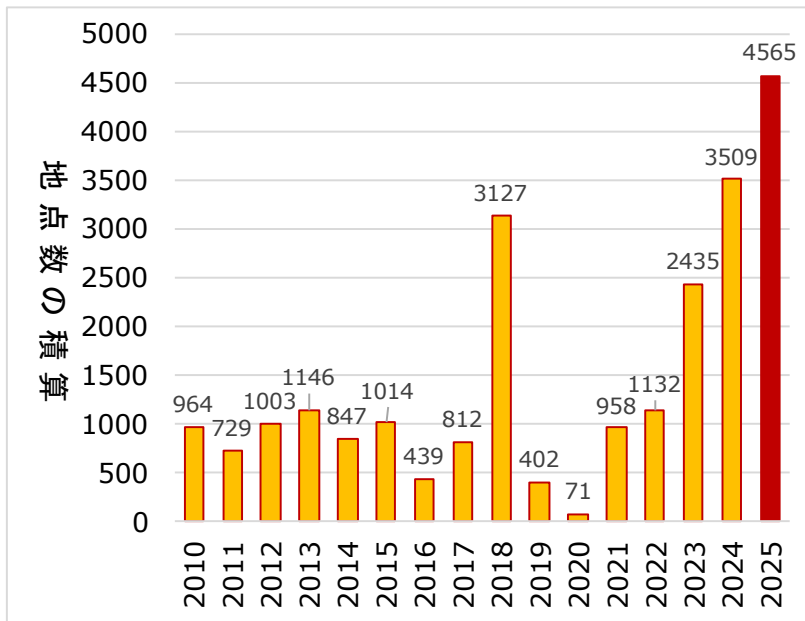
日本の天候の状況の詳細は、「2025年7月の天候」をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/monthly/202507/202507m.html>

猛暑日地点数の積算

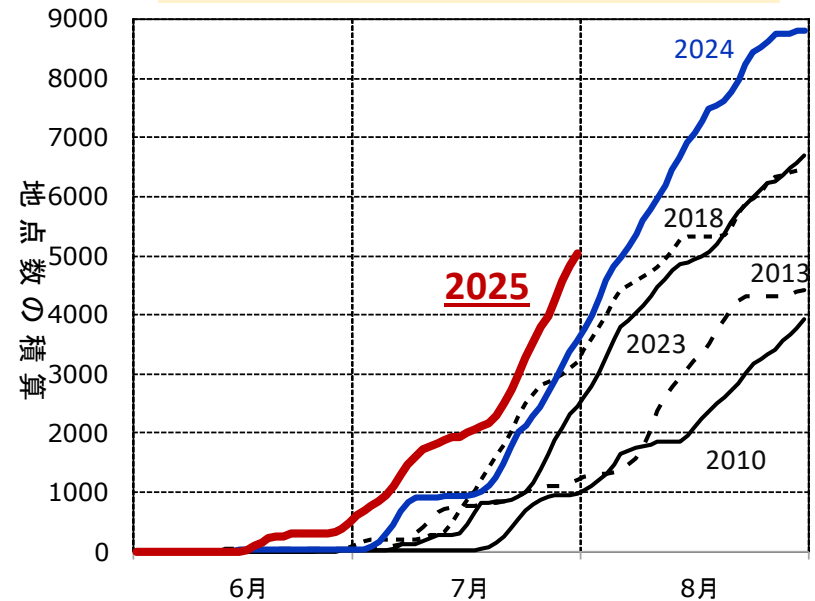
- 2025年7月の猛暑日（日最高気温が35℃以上）地点数の積算は4,565、6月1日～7月31日の積算は5,055で、いずれも比較可能な2010年以降で最も多くなりました。

7月の猛暑日地点数の積算



6月1日～8月31日の猛暑日地点数の積算

※2025年は7月31日まで



- 2010年以降の各年7月の積算（左図）と主な高温年の6月1日～8月31日の積算の推移（右図）を示す。
- 全国のアメダス地点による観測値を用いる。主な高温年について4月1日時点のアメダス地点数は、2010年が919地点、2013年と2018年が927地点、2023年が915地点、2024年と2025年が914地点。

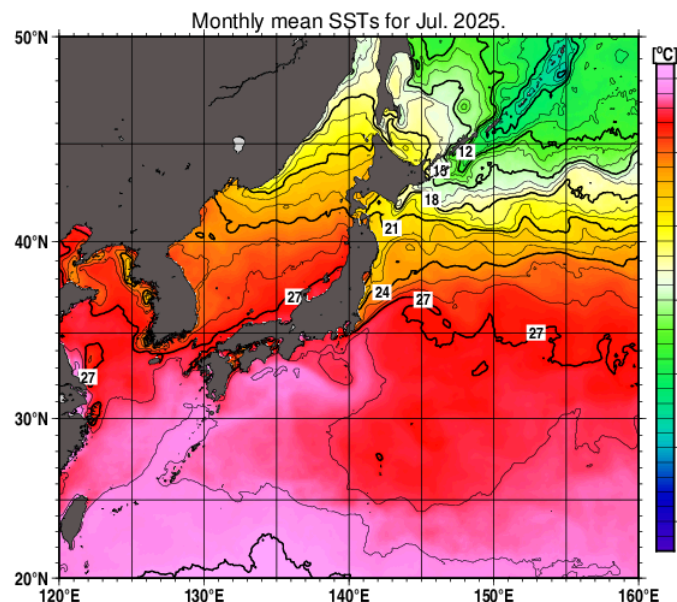
日本の天候の状況の詳細は、「2025年7月の天候」をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/monthly/202507/202507m.html>

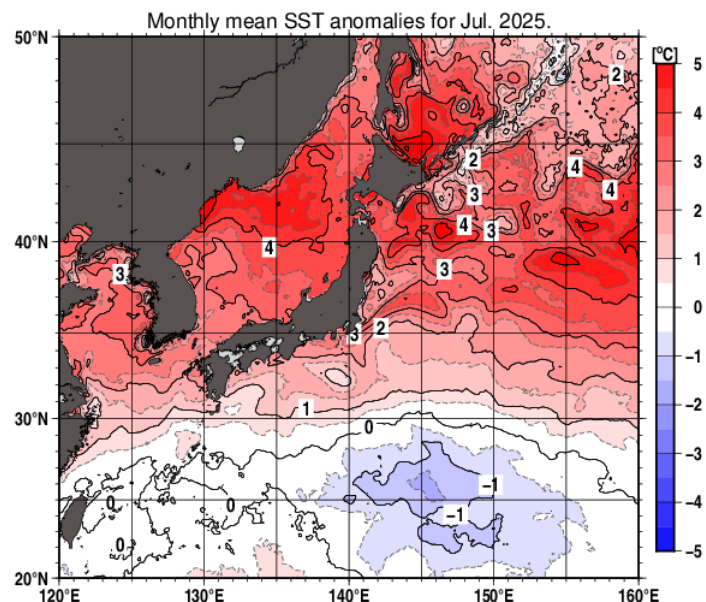
日本近海の7月の海面水温

- 2025年7月の平均海面水温は、日本近海で平年差+1.7℃（速報値）（*3）となり、統計を開始した1982年以降で、7月として1位の記録となった。

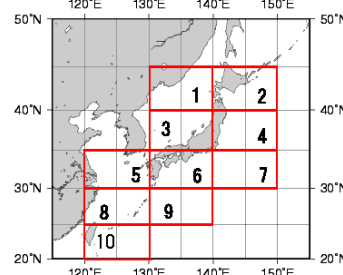
2025年7月の月平均海面水温の分布



2025年7月の月平均海面水温偏差の分布



（*3） 1991～2020年の30年平均値との差。日本近海の平均海面水温偏差は、気象庁が監視している海域（右下図の海域1～10）の平均から求めている。速報値は、後から入手された観測値によって更新されることがある。



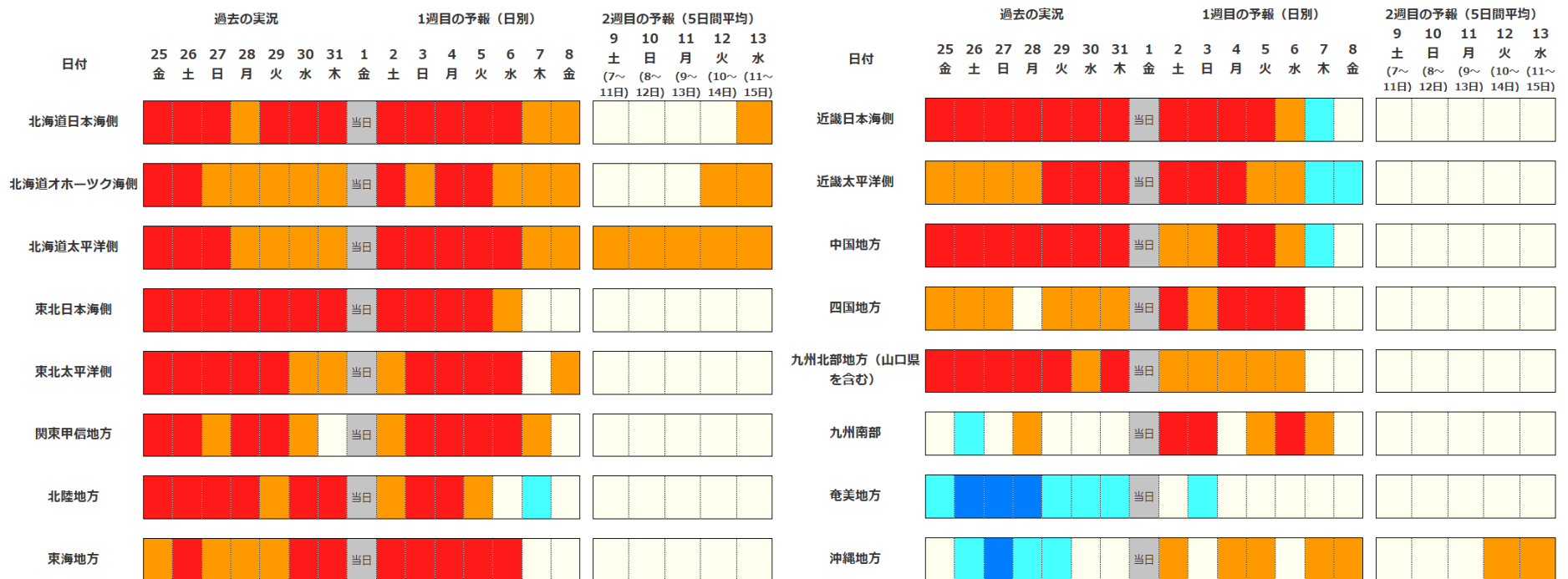
海面水温の詳細は、海洋の健康診断表「海面水温に関する診断表、予報、データ」をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/shindan/index_sst.html

向こう 2 週間の気温の見通し (8/1発表 2週間気温予報)

- 8月6日頃までは、北日本から西日本で平年より気温が高く、最高気温が35℃以上の猛暑日となる所もある。その後、8月前半は平年並の気温となる所が多い見込み。

最近 1 週間の気温の実況と向こう 2 週間の予報



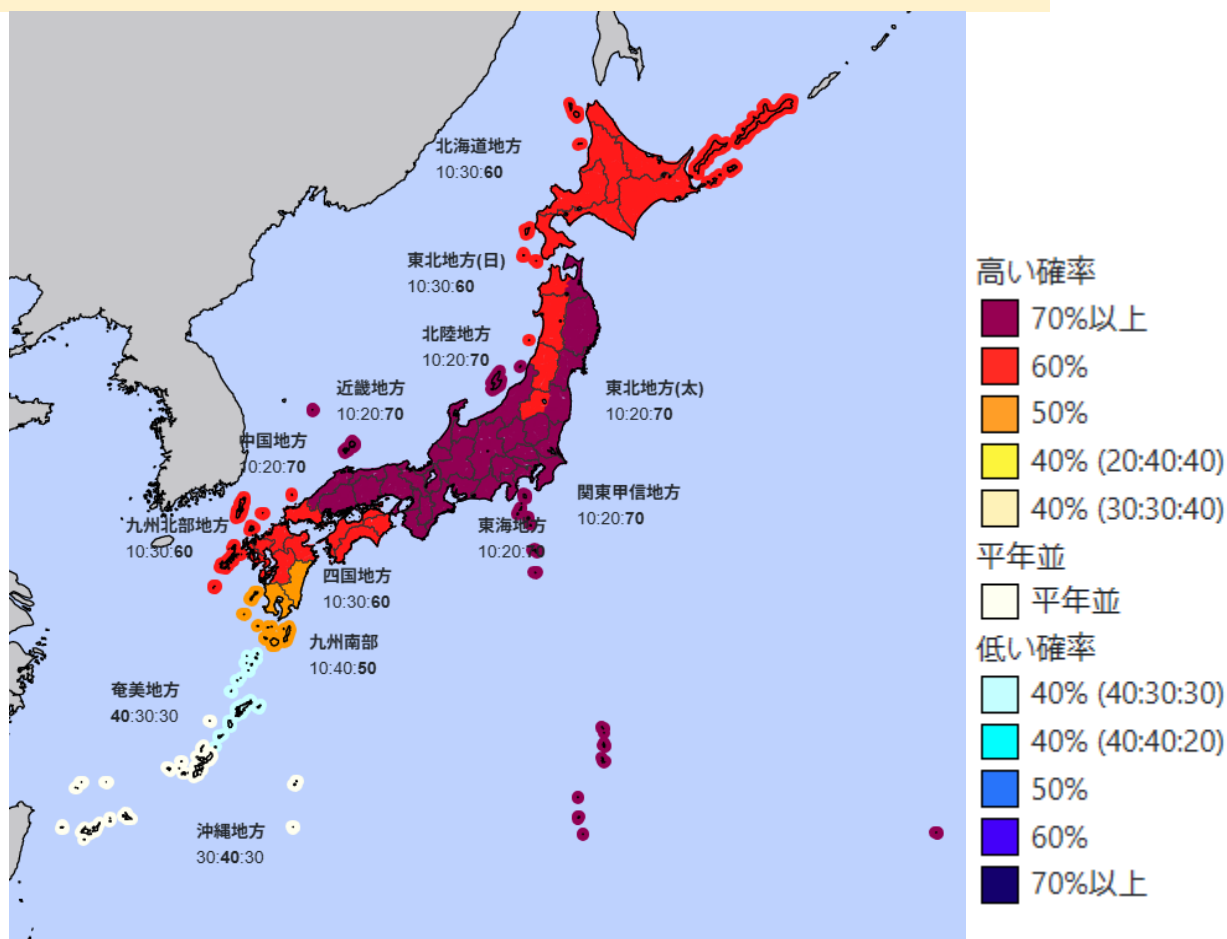
2 週間気温予報の詳細は、「2 週間気温予報」をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweeek/>

向こう1か月の気温の見通し（7/31発表 1か月予報）

- 向こう1か月は北日本から西日本では平年より気温が高い見込み。

向こう1か月（8/2～9/1）の平均気温の予報



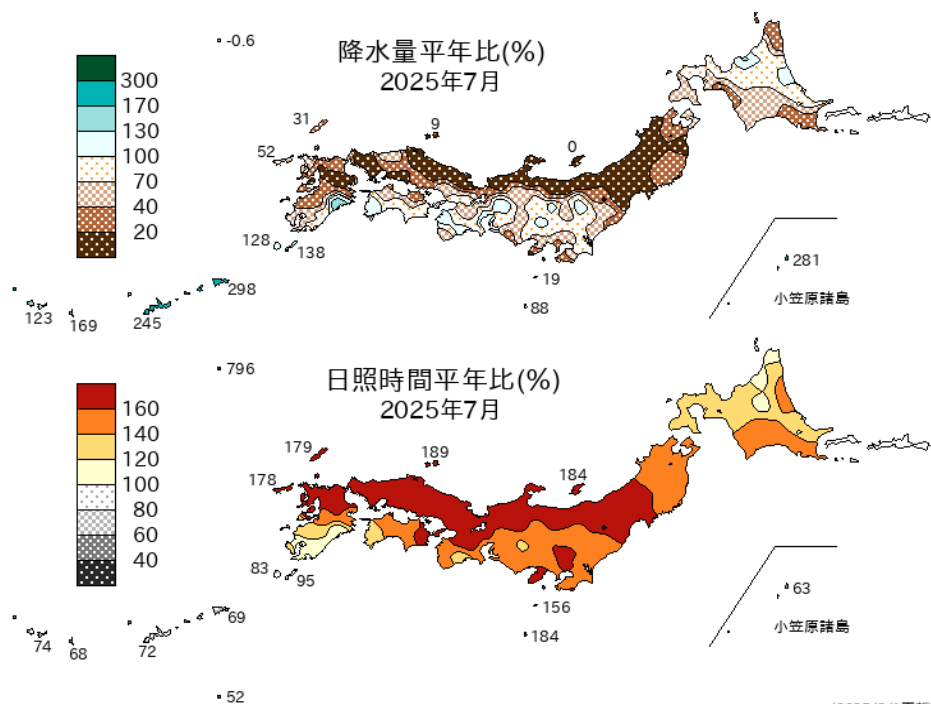
1か月予報の詳細は、「季節予報」をご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/34.5/137/&elem=temperature&pattern=P1M&term=0&contents=season>

少雨の状況と見通し

- 北日本から西日本では、7月の降水量が少なく、平年の半分以下だった地域もあった。特に東北日本海側と北陸地方の月降水量の地域平均平年比はそれぞれ13%、8%で、統計を開始した1946年以降の7月として最も少なかった。
- これらの地域では、8月前半は曇りや雨の日が多くなり平年並または平年を上回る降水が予想されるが、これまでの少雨を解消するほどの降水量にはならない可能性がある。

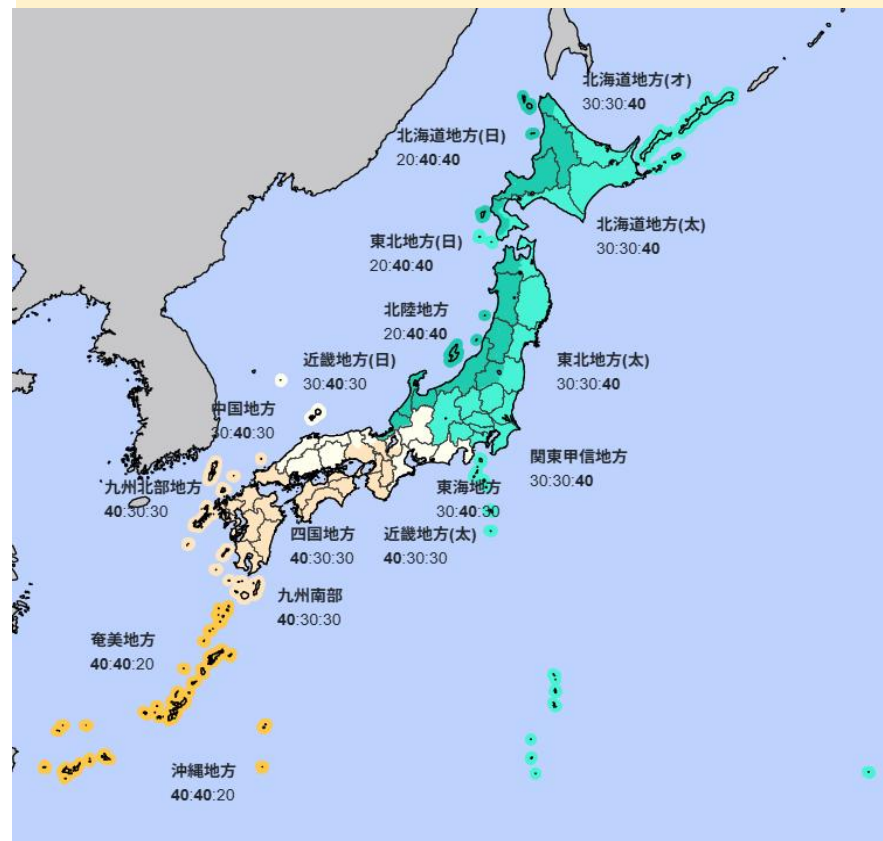
2025年7月の降水量・日照時間平年比の分布



(2025/8/1更新)

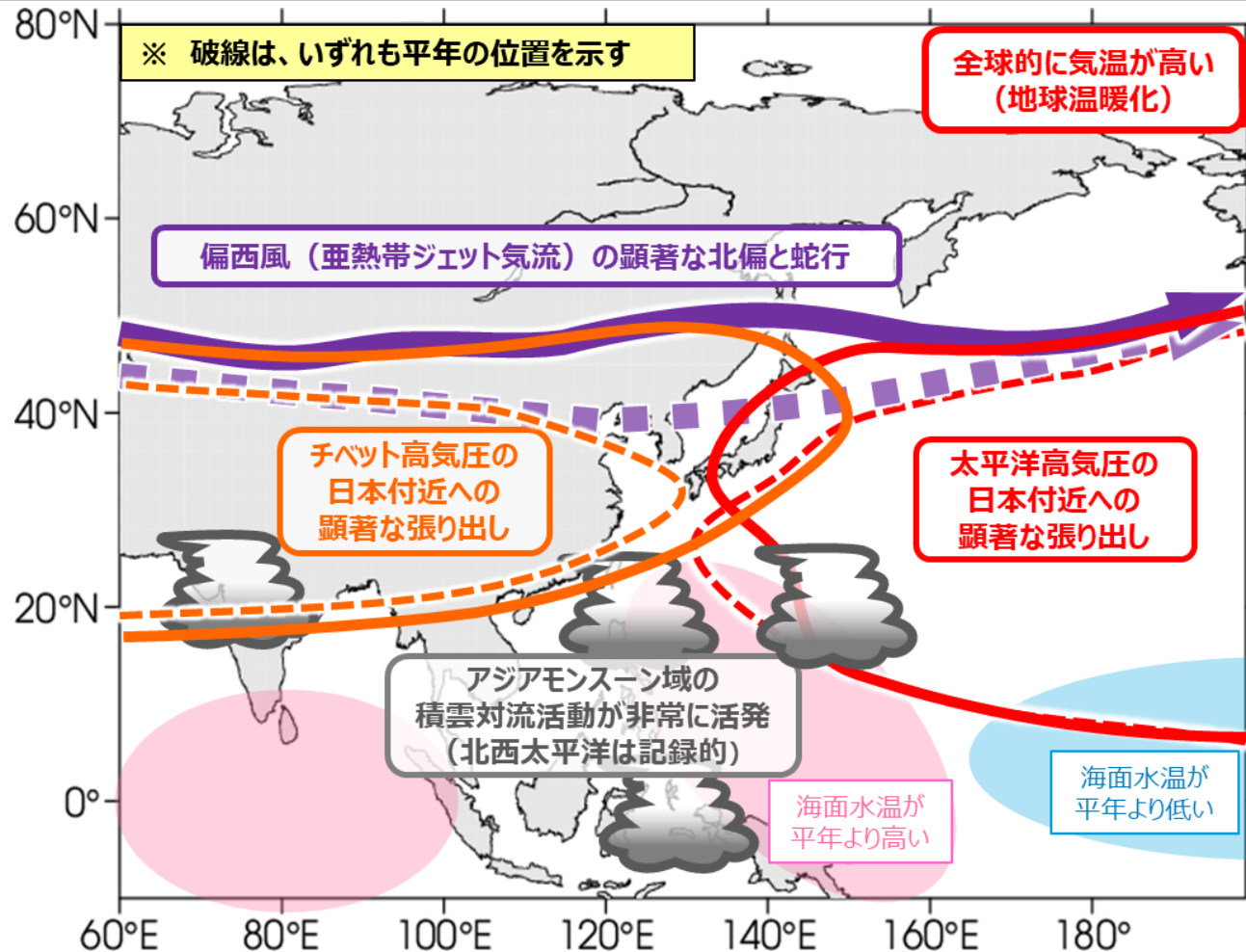
All rights reserved. Copyright(c) Japan Meteorological Agency

向こう1か月 (8/2~9/1) の降水量の予報 (7/31発表 1か月予報)



顕著な高温・少雨をもたらした大気の流れの特徴

- 全球的に対流圏の気温が高く、特に北半球中緯度帯で顕著に高かった。
- インド洋熱帯域や北西太平洋で海面水温が高くアジアモンスーン域で対流活動が活発。これによりチベット高気圧が強まり、ユーラシア大陸上では偏西風が平年の位置よりかなり北に偏って流れた。ヨーロッパ方面から偏西風の蛇行が伝播し、日本付近では一層北に偏って流れた。
- 北西太平洋（フィリピンの東海上）の対流活動が記録的に活発で、日本付近への太平洋高気圧の張り出しを強めた。
- これらにより、日本付近は梅雨前線の影響を受けず雨が少なかった。東・西日本は高気圧に覆われやすく、北日本には暖気が流れ込みやすく、記録的な高温となった。



※異常気象分析検討会委員のご協力を得て作成しています

関連資料の掲載場所

7月の天候について、より詳細な資料をご利用いただけます。

- 7月の天候（日本の天候の状況を取りまとめた資料）
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/monthly/202507/202507m.html>
- 日本の月平均気温の長期変化傾向（7月）
https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/jul_jpn.html

今後の見通しと対策は、以下をご利用ください。

- 2週間気温予報（毎日14:30発表）
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/>
- 各地の気象情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>
- 環境省熱中症予防サイト
<https://www.wbgt.env.go.jp/>